

結果の概要と改善の方向

札幌市立発寒西小学校
令和 8 年（2026 年）9 月 24 日

本校の概要

今回の課題

改善の方向

国語

- 今回出題された全ての学習指導要領の内容で全国の平均正答率を上回っている。
- 平均正答率が特に大幅に上回っている力は、「話すこと・聞くこと」である。
- 「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題」では全国と比べて 10 ポイント以上正答率が高い。
- 全国の正答率が 33.5%の問題は本校でも 38.8%と正答率が低く、難しい問題だったと考えられる。

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 無回答が全国平均を上回っている問題があり、その数は 13 問中 6 問である。（問題形式別 選択式 3 問 短答式 2 問 記述式 1 問）
- 解答を文章で書く問題への向き合い方として本校では約 20%が「解答しない・諦めた」と回答した。同質問に対する同回答は全国では約 15%であり、本校はそれを大きく上回った。

- 当該学年に配当されている漢字を適宜書き、文や文章の中で使う活動の充実。
- 読む→分かることを書く→考えたことを書く→難しければ後回しにする→最後に必ず未回答の問題に戻る 学習サイクルの習慣化
- 問題の意味が分からない→問題文を読む練習
- 解き方が分からない→基礎・既習事項の復習
- 記述するのが苦手→「考え＋根拠」の型を練習
- 時間不足→時間配分の練習
- 間違えるのが嫌→「途中まででも書く」経験
- 面倒で書かない→最後まで解答する習慣

算 数	□今回出題された全ての学習指導要領の領域で全国の平均正答率を上回っている。(ほぼ同程度、やや上回るを含む。) □全国と比べて 10 ポイント以上上回っている設問は次の 4 つである。「体積の意味について理解している」「単位量当たりの大きさを求める式の意味を理解しどちらが混んでいるか判断する」「単位分数の個数に着目し、1 を表す目盛りを捉える」「数量の関係に着目して、条件に合う時間を求める」	■計算による体積（立方体）の求め方を理解している。 ■数を四捨五入して、概数で表す。 ■示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すると。	○基礎基本の徹底。 ○「どちらの数に近いか」を数直線でイメージしたり、それを言語化して伝えたりする活動の充実。 ○ポイントになる箇所に○を付けたり、必要な情報を表に書き込んだりする、問題文を把握する力を身に付ける活動の充実。

児童質問紙調査

「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した合計を「肯定的な回答」として全国平均と比較し、特徴的だった質問事項を示します。

◇全国平均に比べ、「肯定的な回答が上回っているもの」◇

- ・学校の**勉強**のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと**話し**ますか。
- ・先生は、あなたのよいところを**認めて**くれていると思いますか。
- ・将来の**夢や目標**を持っていますか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも**相談**できますか。
- ・自分と**違う意見**について**考える**のは楽しいと思いますか。
- ・あなたの学級では、人と**違う意見**を言っても**否定されない**と思いますか。
- ・PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動で**プレゼンテーション**を作成することができると思っていますか。
- ・話し合い活動を通じて、自分の考えを**深め**たり、新たな考えに**気付い**たりすることができていますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところを、**分かるまで**教えてくれていると思いますか。
- ・国語の勉強は**好き**ですか。

◇全国平均に比べ、「肯定的な回答が下回っているもの」◇

- ・人の**役に立つ**人間になりたいと思いますか。
- ・学級会における話し合いを生かして、今、自分が**努力**すべきことを決めて取り組んでいますか。
- ・算数の勉強は**得意**ですか。